**教師用指導案 がん教育教材「ウナガスサミット」**

1　題材

「がん」への正しい理解／「がん」に対する適切な態度や行動の習得

2　本時の指導

1. ねらい

がんへの正しい理解を深め、 「がん検診」の重要性を知り、人と共有できるようになる。

1. 準備・資料

・教師…「知識学習抜粋-画面投映用」のPC準備、「体験学習シート-出力・配付用」の生徒人数分出力（保護者向けアンケートフォーム作成含む）

・生徒…筆記用具

1. 適用可能な学習時間

・総合的な学習の時間、保健体育、家庭科　等

1. 指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 留意点 |
| 導入  (10分) | 【知識学習（インプットワーク）】  **1.がんについて正しく理解する。**  ・がんは誰でもなる病気  ・がんになりにくくする行動  ・早期発見・早期治療の重要性　等 | ・がんの基礎的な内容を伝え、未来の自分や身近な人が がんに罹患する可能性があることを伝える。  ・早期の発見・治療が大切なことを伝える。 |
| 展開  (30分) | 【体験学習（アウトプットワーク）】  **『ウナガスサミット』**  **2.実態シートで「大人たちとがん」を深堀りする。**  ・「がん検診」受診率の低さ  ・40代からのがん罹患リスク  ・がん教育の受講状況  **3.「がん検診」の重要性を人に伝える作戦を考える。**  ・ターゲットの「がん検診」を受けられていない『理由』に着目して「がん検診」をうながす声かけや働きかけを各自で考える。  **4.自分で言語化した「がん検診」の重要性を他者と共有する。**  ・各自が考えた作戦をペアやグループで発表しあい、意見交換をする。  ・グループで共有した内容をもとにクラス内で発表する。 | ・「この国の大人たち」と称されている人々が、自分の両親や祖父母など身近な大人を含んでいることにも気付かせる。  ・身近にいる家族や親戚、知り合いの大人たちはどうなのだろうかと連想させる。  ・自分が大人になったときのがんとの向き合い方を想像してもらう。  ・グループやクラスで発表するときは、なぜそのターゲットを選んだか、なぜその作戦にしたかの理由も合わせて発表するように伝える。 |
| まとめ  (10分) | **5.ワークをふり返る（保護者への案内も）。**  ・自分の周りの大人たちの「がん検診」についても関心をもつ。 | ・周りの大人だけでなく、自分が大人になったときの「がん検診」との向き合い方についても考えさせる。  ・保護者との共有も促す。 |

※児童養護施設などから中学校に通っている（保護者不在の）生徒様には、「ふり返り」のシート配付について別途ご検討いただけますようお願い申し上げます。